

マーケットの動き（2026年6月22日～6月26日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。

前週のFOMC（米連邦公開市場委員会）の結果を受けてFRB（米連邦準備制度理事会）の利上げ観測が強まり、日米金利差拡大への懸念からドル買いが優勢となりました。22日には日米財務相の協議が報じられ、為替介入への警戒感から円が買われる場面もみられました。

ユーロは前週末比、対円・対米ドルで下落しました。

投資環境見通し（2026年6月）

米ドル、ユーロはともに円に対して強含みで推移

米ドル：中東情勢を巡る不透明感が残る中、日本政府による財政拡張政策が円安材料とみられることから、ドルは円に対して強含みで推移するとみています。ただし、日本政府・日銀による円買い市場介入に対する警戒感が、当面の上値を押さえるとみています。

ユーロ：ECB（欧州中央銀行）による早期の利上げ観測が広がる中、日本政府による財政拡張政策が円安材料とみられることから、ユーロは円に対して強含みで推移するとみています。ただし、日本政府・日銀による円買い市場介入に対する警戒感が、当面の上値を押さえるとみています。

	6月26日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	161.74	0.57	2.41	5.31	17.33
ユーロ/円	184.30	▲0.56	▲0.91	0.07	15.23

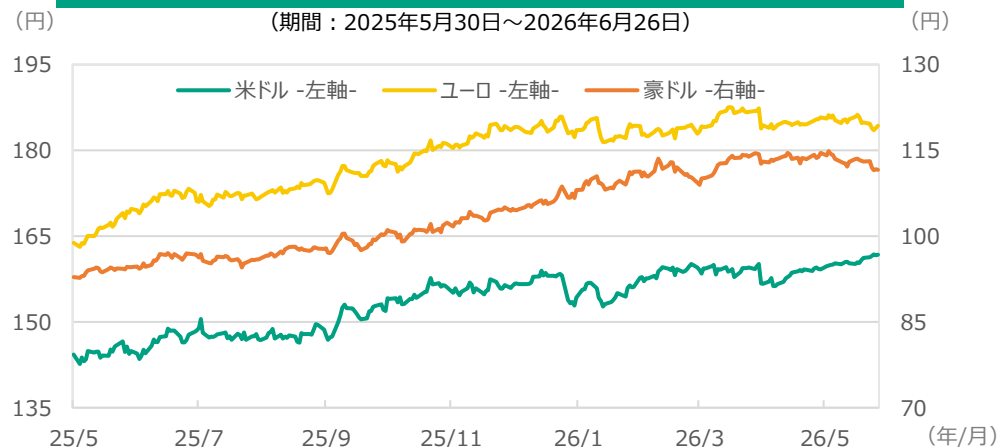
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202606_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成